



宮本貞治（京都美術工芸大学芸術学部特任教授）は1953年に京都市に生まれ、黒田乾吉氏に弟子入りし、独立後は滋賀県に工房を構え、琵琶湖の水の流れや波から着想を得た独自の表現方法を確立させました。自作の匏など、多様な道具と「拭漆」の技法を駆使した美しく風格のある木工芸品は高く評価され、2023年には重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。

本展のタイトルである「水鏡」とは、物事をよく観察し真実を見抜き、人の模範となることです。「木」が持つ素材としての本質を見極め、木工芸品として昇華させる宮本貞治の制作に対する姿勢を作品とともにスケッチや模型、さまざまな道具を通して紹介いたします。

| 見どころ |

1. 制作のプロセスも紹介

完成した作品とともに、これまでの個展や各種公募展では展示されたことのない作品の構想を練るためのスケッチや、精度の高い作品制作に欠かせない模型なども併せて展示。制作のプロセスを窺うことができます。代表的な作風となる流紋の生まれる様子も垣間見えます。

2. 木工芸の基本も知れる展覧会

会場で最初に目に入るのはノミやカンナなどの木工の道具や拭漆の道具、ケヤキやクワなどの木材です。木を最大限に生かす作品を制作する宮本の多彩な道具や種々の木材など、創作の起点を紹介する展示を通して、木工芸の基本も知ることができます。

3. 学生たちによる企画・展示

本展は学芸員資格取得科目の一つ「博物館実習」の課題として、京都美術工芸大学芸術学部の学生たちが企画から展示設営まで取り組みました。広報用バナーも学生のデザインです。

| 主な展示作品等 |



《櫛拭漆流紋飾棚》(1991年)



《櫛拭漆鮑目酒卓》(2010年)



《拭漆道具一式》ほか



《櫛拭漆文机(スケッチ・マケット)

※総展示点数 約 130 点

| 開催概要 |

展覧会名) 2024 年度博物館実習企画展「水鏡—宮本貞治展」

会期) 2024 年 9 月 13 日(金)–10 月 27 日(日)

休館日) 2024 年 9 月 29 日(日)、10 月 12 日(土)

開館時間) 平日 10:00 – 18:00 (入場は 17:30 まで)

土日祝 10:00 – 17:00 (入場は 16:30 まで)

会場) 京都美術工芸大学 鴨川七条ギャラリー (京都市東山区川端通七条上ル)

観覧料) 無料

お問合せ) 京都美術工芸大学事務局 Tel. 075-525-1515

京都美術工芸大学ホームページ) <https://www.kyobi.ac.jp/>

| 関連イベント |

ニュー・ブランシュ KYOTO 2024 参加プログラム

「時を経て：日本の人間国宝とフランスのメートル・ダール (Maîtres d'Art)」展

フランスのメートル・ダール (工芸巨匠) と日本の人間国宝 (工芸作家) の作品と匠の技を紹介。木工芸の人間国宝であり、京都伝統工芸大学校(TASK)で教鞭をとる村山明氏、京都美術工芸大学 (KYOBI)特任教授の宮本貞治氏との合同展です。

会期) 2024年9月28日(土) – 10月21日(月)

開館時間) 10:00 – 18:00 (入館は 17:30 まで)

会場) 京都伝統工芸館 (京都市中京区烏丸通三条上る / <http://www.dentoukougei.com/>)

主催) フランス「メートル・ダールとその弟子協会」、学校法人 二本松学院

◆会期中、フランスの工芸作家によるトークイベントや日仏の工芸作家たちによるシンポジウムも開催されます。

①10月7日(月) – 11日(金) フランスの工芸作家のトークイベント、講演会

②10月11日(金) ・村山明氏と宮本貞治氏による講演

・パネルディスカッション「『継承』の真髄 – 日仏における工芸の社会的地位の違いが、そこにどのように表れているか」

登壇者：ピエール・ルヴェルディ氏、村山明氏、宮本貞治氏

司会：近藤誠一氏 (元 文化庁長官、元 在フランス日本国大使)

※①は予約不要、②は要予約。②のみ会場は京都美術工芸大学 KYOBI ホール。

詳細および申込 ▶ <https://nuitblanche.jp/evenements/maitres-dart-lecture/>

